

令和8年度 北日本ハイテクニカルクッキングカレッジ  
高度製菓衛生師科2年 シラバス

科目名	単位数	コマ数	授業時数	対象学年	必修/選択
高度製菓実習（校外）	計 20	120	120/600	2 (1 学期)	必修
【学習内容】 製菓に関する実践的な授業を行うため、1年次に学内での実習で身に着けた知識・技能を実際の現場で実習することでさらに応用的な知識。技術を習得する。					
【到達目標】 1. 実社会における実践的な知識・技術を学習する。 2. 学校の学習と職業を結び付けて考え、進路選択能力や勤労に望ましい見方、考え方を身に着ける。 3. コミュニケーション能力を高め、社会人としてマナーを身につける。					
【授業の方法】 ・ 校外実習					
【成績評価の方法と基準】 ・ 実習終了後、企業の実習担当者様からの実習評価表と学生が研修期間中、記入する日誌等をもとに総合的に評価する。					
【授業時間外に必要な学習の具体的内容】 ・ 1年次に学習した内容について、再度復習する。 ・ 事前に、実習企業訪問を行い、注意事項などを確認する。					
【使用教材・教具】 ・ 実習着一式 ・ 製菓セット ・ 校外実習日誌					
【履修にあたっての留意点】 ・ 学校での実習とは違い、現場での実習となるため健康管理に気を付けること。 ・ 実習先で知り得た情報などについては、守秘義務を守り他に口外しないこと。 ・ 実習中、スマートフォンなどはロッカー等に入れ厨房などに持ち込まないこと。					

科目名	単位数	コマ数	授業時数	対象学年	必修/選択
高度製菓実習（校内）	計 20	480	480/600	2 (通年)	必修
【学修内容】 和菓子、洋菓子、パンの分野を実習、パティスリー実習を通じて理解を深め、応用技術を向上させる。					
【到達目標】 1年次で学習した基礎技術をもとに、和菓子・洋菓子・パンの応用技術を習得する。 パティスリー実習を通じて、コミュニケーション能力、ラッピングの技術を習得する。					
【授業の方法】 ・ 実習					
【成績評価の方法と基準】 ・ 期末の実技試験にて評価する。					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】 予習 次回に行われる授業のレシピプリントを読んできてください。 復習 授業内容を整理し、実習ノートにまとめてください。また、わからないことは調べたり、質問をしてください。放課後の時間を利用し自主練習をしてください。					
【使用教材・教具】 ・ 本校独自のレシピプリント ・ 製菓セット ・ 実習ノート					
【履修にあたっての留意点】 ・ 正当な理由なく授業時間に遅刻や早退があった場合は、その授業の出席時間数として認定しません。 ・ 授業中の私語、スマートフォン等の操作は認めません。 ・ この科目は、他の科目と関連性があります。意識しながら授業に取り組んでください。					

科目名	単位数	コマ数	授業時数	対象学年	必修/選択
芸術	1	30	30	2 (通年)	必修
【学習内容】					
書道 古来の筆記用具である、毛筆と墨を使用し漢字や仮名文字を芸術的に表現する日本の伝統芸術に触れる。					
美術 デッサンや立体作品を作成することでデザイン力、創造力を養う。					
【到達目標】					
1. 姿勢や、筆順や筆の持ち方といった基本的な部分について学習するとともに筆と紙を通して自己表現し、字に思いや感情を込めて書くことを学ぶ。					
2. 明度・彩度など基礎的な部分を学習し、静物などのデッサン、立体折り紙、ポストカードなどを製作しその形の捉え方、バランス、色合いなどについても実践して学習する。					
【授業の方法】					
・実技					
【成績評価の方法と基準】					
・課題の提出により評価します。					
【授業時間外に必要な学習の具体的内容】					
・特になし					
【使用教材・教具】					
・筆 硯 半紙 鉛筆 スケッチブック					
【履修にあたっての留意点】					
・正当な理由なく授業時間に遅刻や早退があった場合は、その授業の出席時間数として認定しません。					
・授業中の飲食や私語、スマートフォン等の操作は認めません。					
・この科目は、他の科目との関連性があります。意識しながら授業に取り組んでください。					

科目名	単位数	コマ数	授業時数	対象学年	必修/選択
サービス論	1	30	30	2 (通年)	必修
【学修内容】					
サービススタッフの心構えと基本マナーをとおり、接客者の基本的姿勢の知識を習得し、お客様から認められるサービスを提供できるプロになるよう実務を学ぶ。					
【到達目標】					
接客者はプロとしての意識を十分に持ち、適切な対応をするため、サービスの本質を知り接客者が心がけるべきプロ意識や実務について学ぶとともに、クレームが起こった際の対応の心構えや基本的な対応策について理解する。					
【授業の方法】					
・講義					
【成績評価の方法と基準】					
・期末の筆記試験により評価します。					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】					
・復習：配布プリントをもとに授業内容を整理し、わからないことを調べたり、質問したりしてください。					
【使用教材・教具】					
・配布プリント					
【履修にあたっての留意点】					
・正当な理由なく授業時間に遅刻や早退があった場合は、その授業の出席時間数として認定しません。					
・授業中の飲食や私語、スマートフォン等の操作は認めません。					
・この科目は、他の科目との関連性があります。意識しながら授業に取り組んでください。					

科目名	単位数	コマ数	授業時数	対象学年	必修/選択
情報処理	1	30	30	2 (通年)	必修
【学修内容】					
ワープロソフトの基本的な操作を習得し、各種文書の作成、修正能力を身につける。					
表計算ソフトの基本的な操作を習得し、グラフ作成やデータ処理能力を身につける。					
【到達目標】					
ワープロソフトを使って、ポスターなどの作成ができ、差込印刷機能を使うことが出来る。					

表計算ソフトを使って、データの選別や、請求書、原価率などの計算が出来る。
【授業の方法】
・演習
【成績評価の方法と基準】
・期末の実技試験にて評価する。
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】
・復習：授業内容を整理し、わからないことを質問してください。
【使用教材・教具】
・作成プリント ・1人1台のPCを使用します。(PCは本校パソコン室にあるもの)
【履修にあたっての留意点】
・正当な理由なく授業時間に遅刻や早退があった場合は、その授業の出席時間数として認定しません。 ・授業中の飲食や私語、スマートフォン等の操作は認めません

科目名	単位数	コマ数	授業時数	対象学年	必修/選択
総合演習	2	60	60	2 (通年)	必修

【学習内容】
サービス接客実務検定2級、3級の資格取得に向けた対策授業のほか、コーヒーや紅茶の入れ方、生け花やフルーツカッティング及び調理師として必要な知識と技術を習得する。
【到達目標】
1、6月にサービス接客実務検定3級、11月に2級の資格取得を目指す。 2、コーヒー、紅茶の種類や入れ方を習得する。 3、生け花に触れることで、色彩感覚や感性を磨く。 4、さまざまな、野菜や果物の切り方を身につける。
【授業の方法】
・演習
【成績評価の方法と基準】
・提出物(50%)と期末の筆記試験(50%)にて評価します。
【授業時間外に必要な学習の具体的内容】
・特になし
【使用教材・教具】
・早稲田教育出版 サービス接客検定受験ガイド2級
【履修にあたっての留意点】
・正当な理由なく授業時間に遅刻や早退があった場合は、その授業の出席時間数として認定しません。 ・授業中の飲食や私語、スマートフォン等の操作は認めません。 ・サービス接客の授業は、資格取得に向けて意識しながら授業に取り組んでください。

科目名	単位数	コマ数	授業時数	対象学年	必修/選択
課題研究	1	30	30	2 (通年)	必修

【学修内容】
1年次で学習した菓子・パンの種類や食材料、栄養素についての基本的知識を深め、様々な環境に適應できるプロになるような知識を学ぶ。
【到達目標】
菓子・パンの特性を復習し、応用につなげるよう食材料について学ぶとともに、現在の食環境について把握する。また、世界の菓子・パンにも視野を広げ、様々な知識や技術について理解する。
【授業の方法】
・演習
【成績評価の方法と基準】
・期末の筆記試験により評価します。
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】
復習：パソコンの活用や配布プリントをもとに授業内容を整理し、わからないことを調べたり、質問したりしてください。
【使用教材・教具】
・配布プリント

<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン</li> </ul>
<b>【履修にあたっての留意点】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 正当な理由なく授業時間に遅刻や早退があった場合は、その授業の出席時間数として認定しません。</li> <li>・ 授業中の飲食や私語、スマートフォン等の操作は認めません。</li> <li>・ この科目は、他の科目との関連性があります。意識しながら授業に取り組んでください。</li> </ul>

科目名	単位数	コマ数	授業時数	対象学年	必修/選択
一般常識	1	30	30	2 (通年)	必修
<b>【学習内容】</b> 社会人として基本的な一般常識の知識を習得する。 社会人として必要な基本的な口頭表現・文章表現全般について理解する。					
<b>【到達目標】</b> 社会人として基本的な一般常識について学ぶ。					
<b>【授業の方法】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講義</li> </ul>					
<b>【成績評価の方法と基準】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小テスト 3 回と提出物により評価します。</li> </ul>					
<b>【授業時間外に必要な学習の具体的内容】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 復習：授業内容を整理し、わからないことを調べたり、質問したりしてください。</li> </ul>					
<b>【使用教材・教具】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実務教育出版 一般常識トレーニングブック</li> <li>・ 作成プリント</li> </ul>					
<b>【履修にあたっての留意点】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 正当な理由なく授業時間に遅刻や早退があった場合は、その授業の出席時間数として認定しません。</li> <li>・ 授業中の飲食や私語、スマートフォン等の操作は認めません。</li> </ul>					